

5. ガスコージェネレーションシステム導入

業種: 特別養護老人ホーム

導入前

当ホームでは、従来、給湯に灯油を使用していたが設備が陳腐化したので、灯油管理の煩わしさ等も勘案し、ガス給湯に変更した。

ESCO事業者のアドバイスに基づき、省エネ機器を併せて導入し、トータル費用の削減を目指した。

導入した省エネルギー技術等

ガス焚き真空式給湯ボイラーとガスコージェネレーションを導入

投資額: 約800万円

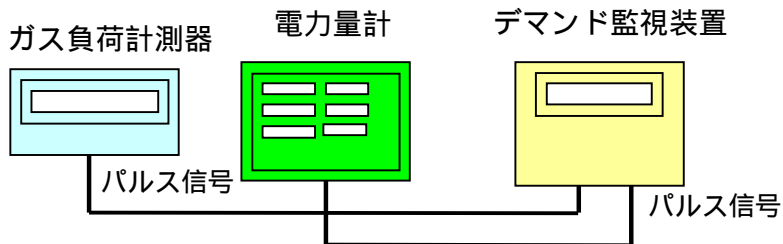
ガスコージェネレーション設置図

スペック



定格出力	5 kW
熱回収の温水温度	60 (入口) 65 (出口)
温水流量	31.8 L / min
総合効率	87%
運転音	52db

ボイラー設置図



- ガス・電気とも予測デマンド管理方式を採用。デマンド発生時には電子ブザーと表示器の両方で知らせる。
- また、監視装置外部に異常を知らせる警報接点を用意。

導入後の成果

灯油料金	148万円
電気料金	520万円
ガス料金	189万円
光熱費合計	857万円

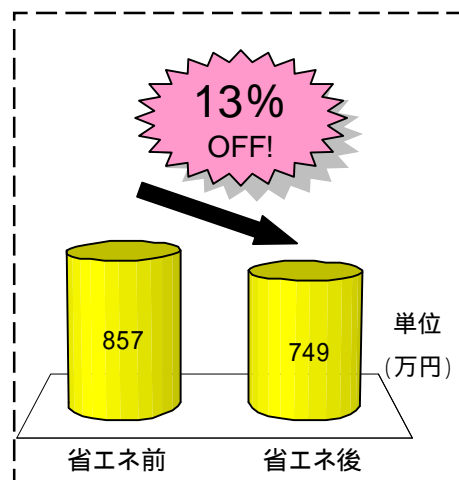
灯油料金	0円
電気料金	474万円
ガス料金	275万円
光熱費合計	749万円

省エネ前

省エネ後

削減量

削減灯油量	27kl/年
削減電気使用量	18,252kWh/年
削減ガス量	23,019m ³ /年
削減CO ₂ 削減量	26.6t
削減原油換算削減量	4.36kl
削減光熱費合計	108万円
投資額の回収年数	約8～10年



電気のCO₂削減量は0.555kg/kWhとしている。
 コージェネの運転は10H/Dを基準として、
 ガス量はNm³で換算した。

他にも推薦できる業種・分野

- ・熱を多く使用する業種。
 - ・給湯設備が古くなっている事業所。
- (理由)
- ・新型のボイラーに交換した場合、効率が上がる。
 - ・コージェネが活用出来る可能性がある。

その他の効果

- ・従業員の意識を高める手段に活用できるが、そこまで手が回っていない。
- ・近隣と密集しているので、騒音の問題があり、早朝・夜間はコージェネの運転はしていない。

企業プロフィール

事業所名 A社
 所在地 大阪府